

発行：ひたちなか市の環境を良くする会
 編集：広報委員会
 事務局：ひたちなか市環境保全課内
 住所：〒312-8501 ひたちなか市東石川 2-10-1
 TEL：029-273-0111 内線 3312, 3313
 FAX：029-272-2435
 E-MAIL：kankyo@city.hitachinaka.l(エル)g.jp

環境から版

二十二年総会を開催

今年度の事業計画、予算などを可決

ひたちなか市の環境を良くする会の第3回(22年度)総会が4月18日(土)午後2時よりワークプラザ勝田大会議室で開催されました。議決会員99名中委任状29名を含む91名の出席のもと、21年度事業報告、決算・監査報告、22年度事業計画、予算、会則の一部改定及び役員改選を提案・審議し、賛成多数により承認・可決されました。

総会は、会則に基づき委任状を含む議決権を有する会員91名の出席のもと、栗田副会長の開会宣言の後、百足会員を議長に選出し、根本会員と七井会員を会議録署名人に指名し始めました。

渡辺会長は冒頭、「会が発足して2年、3つの分科会と3つの委員会を立ち上げ準備・助走期間として議論を重ねてきました。今年は3年目となり、いよいよ活動する年となるので、しっかりと進めていきたい」とあいさつしました。



総会であいさつする渡辺会長



あいさつする本間市長

また、来賓として本間市長、市民生活部 村上部長、山村副部長の出席をいただきました。本間市長は「市民手づくりの『自立と協働のまちづくり基本条例』が4月から施行されたが、まちづくりの主役は市民でありますので、皆様方にはこれからも積極的に関わっていただきたい」と、話されました。

議事は、21年度事業報告を会長及び3分科会会長より報告し、承認され、続く決算・監査報告では、「予算は計画に基づき執行してほしい」

等の要望が出され、認定されました。

22年度事業計画案は、環境シンポジウム・環境講座の開催、啓発活動の実施などを提案、予算案は繰越金を含め約35万円規模を提案しました。事業計画案では、「環境問題の原点に立った考え方を入れている」と「各分科会の事業計画も入れている」との意見が出されましたが、それぞれ賛成多数により可決されました。

続いて役員改選に伴い、役員選考部会を設置する旨の会則の一部改正について可決し、その後、山口部会長から、新役員案が提案され、賛成多数により可決されました。



総会のようす

『ひたちなか市の環境を良くする会』は、市民、民間団体、事業者及び市が互いに協力し、より多くの市民や事業者が、身近な自然や環境を大切にする心を育むとともに、環境保全行動の定着を図るため活動しています。

具体的な活動を計画し実行するのは、ごみ問題、温暖化防止、自然環境の3つの分科会が中心となっています。より多くの市民や事業者が参加・行動できるような事業を行いたいと張り切っています。

活動のようす
ごみ問題分科会

4月22日行政バスを利用し栃木県茂木町の美土里館と芳賀町の(有)ドンカメを訪問し、生ごみ堆肥化プラントを見学しお話を伺いました。茂木町は行政が運営し、芳賀町は民間の施設です。どちらも家庭や公共施設、事業所から出された生ごみを堆肥化し、農家へ安く提供し農産物の地産地消を進めるといふ好循環システムができてると誇らしげに説明されました。

ただ、両町とも人口は当市の10

分の1の15,000人程です。当分科会も成功例を目的の当たりにして、モデル事業として実施するための参考にして取り組んでいきます。



ドンカメ(有)のようす

分科会では生ごみ堆肥化モデル事業ロードマップの作成、モデル事業の企画書、生ごみ収集の方法とエリアの選定等の具体的な進め方について協議し、地域の皆様のご協力を得られる様な信頼と納得の中で取り組んで参りたいと念願しております。

この事業を進める上で大事なことは、堅忍不拔の強い意志を持続する事と、会員全員の団結で意見を出し合いプラス思考で前進する事が大事であると思います。

資源循環型社会に即したごみの減量、リサイクル市民運動の推進をして参りたいと思います。



美土里館のようす

活動のようす
温暖化防止分科会

6月18日早朝、勝田駅前で「冬キャンペーン」に引き続き、「夏の温暖化防止キャンペーン」を実施しました。

役員会・市職員の協力もあり、総勢16人。用意した1000部のチラシを手に、通勤通学途中の方に省エネを呼びかけました。

後半、東石川小学校5・6年生の「朝のあいさつ運動」と重なり、子どもたちの「おはようございまーす!」の大きな声と共に、私たちも元気に活動!梅雨の晴れ間、清々しい朝のひとつでした。

是非、次回は皆さんも!



チラシ配付のようす



また、分科会提案の環境講座『食と温暖化防止・NO.2』(講師・近藤 恵津子氏)を7月10日に開催しました。

『講座NO.1』では、市内における農業の実態・学校給食から「地産地消・フードマイレージ」を考えました。

今回は、学校で行う授業形式で参加者全員が生徒になり、私たちができることを考えました。分科会の目標は、受講後、私たち自らが地域や学校に向き、「食と温暖化防止を考えるための出前講座」を行えるようにチームをつくり実施することです。

少しづつ前進、次号の報告をお楽しみに。

活動のようす
自然環境分科会



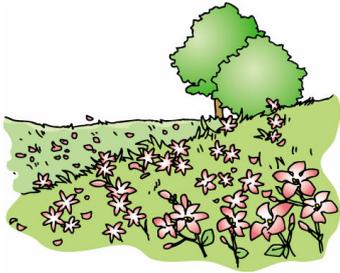
自然観察会のようす

4・5月の分科会で「多良崎城跡の自然観察会」の打ち合わせを行いました。「参加者募集」を市報

で募集し、チラシを図書館、公民館などの公共施設に配置、近隣11の自治会へは、手分けしてチラシを持参しました。また5月連休中に数名の会員が観察会の散策路の樹木に名前が一目でわかるように手作りの樹木名札を約30枚付けて回り、安全確認のため歩道の点検を行いました。

5月15日の多良崎城跡自然観察会には、観察応援スタッフ、申込者43名が参加。平野伸生氏(市文化財審議会副会長)の多良崎城における歴史の講義や、磯前博巳氏・幡谷義勝氏(当分科会)による山野草の説明に、参加者はメモをとりながら熱心に耳を傾けていました。

新年度に入り、会員は30名になった自然環境分科会。新入会員の意見を反映させるべきとの発言もあり、6月に新役員の選出を行いました。新たな体制のもと、会員同士、協力し議論を深めながらひたちなか市の自然環境を良くしていきたいと思えます。



会員紹介

実体験で学ぶ環境教育活動

地球大好きエコクラブ

当クラブは、平成18年度茨城県主催のエコカレッジ実践コース修了生の県央地区有志で設立し、エコカレッジで学んだ事を実践して環境教育啓蒙活動を行っています



授業のようす

現在、会員は9名です。活動の特徴は、遊び心を採り入れた実体験を通した見える環境教育と啓蒙です。

主な活動はひたちなか市を中心とした県央地区の小学校での地球温暖化防止教育、各種環境イベントでの温暖化防止啓蒙、環境シンポジウムでの環境活動推進法の啓蒙などです。更に、市内の河川の親子自然観察、水質調査会も実施しています。過去3年で環境教育は延30小学校、3800名の児童に行っています。私達は子供たちからの心のこもった感想文や楽しかったという言葉に新たな力をもらい、更に楽しい実験による教育

の充実に努めています。

また、活動の際にはCO2ダイエット宣言をしてもらい、富士山麓の植林などに苗木を送り、温暖化防止にも努めています。

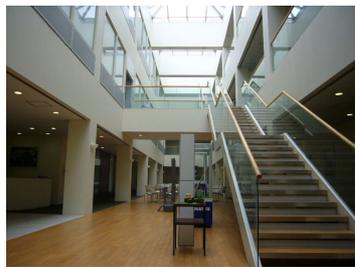
当クラブの活動に興味のある方は是非、未来を担う子供さん達への環境活動を一緒にしませんか。



CO2ガスに浮かぶシャボン玉

会員紹介
現状に満足せず更に環境にやさしい工場をめざす
株式会社小松製作所 茨城工場

当社は1921年に創業し今年で89年を迎えますが、茨城工場は2007年1月に茨城港常陸那珂港区に竣工したばかりの、グループ内でも若い工場です。主に大型のダンプロトラックやホイールローダといった鉱山機械を製造しており、製品の9割は海外に輸出されております。



自然光を取り入れたロビー

また、廃棄物の徹底した分別によるリサイクルの促進、海岸清掃などの地域活動への参加、ISO14001の認証取得と維持、現場改善や省エネ活動といった継続的な環境活動を推進しており、より一層環境にやさしい工場を目指しております。



茨城工場正門

環境面の特徴としては、港湾に隣接した立地を生かした製品輸送によるCO2排出の抑制、太陽光発電の設置や自然光を活用したロビー、塗装工程へのバイオブラス導入など新しい工場ならではの環境にやさしい工場づくりが図られております。



工場リサイクルセンタ

環境かわら版

意見交換会を開催しました

平成22年度第1回意見交換会が6月26日(土)中央公民館で開催されました。

最初に、各分科会の活動報告があり、ごみ問題分科会では、4月22日(木)に、栃木県茂木市方面へ生ごみの堆肥化事業の先進地視察の報告がありました。

続いて、温暖化防止分科会では、6月18日(金)早朝、勝田駅にて「夏の温暖化防止キャンペーン」を実施したことや、7月10日(土)の環境講座を開催することなどの報告がありました。

自然環境分科会では、5月15日(土)に念願であった多良崎城址自然観察会を開催でき、大変好評だったと報告がありました。

また今回は、ごみ問題分科会で事業化に向けて協議している「生ごみの堆肥化」に関し、課題の1つである「生ごみの分別から収集方法」をテーマに、多くの会員の意見を聞きました。様々な意見や提案がだされましたが、北島分科会長より今後の検討に反映させていきたいとあいさつがありました。

意見交換会は会や各分科会の活動に対しての意見を言える場ですので、ぜひご参加ください。



意見交換会のようす

今後の予定

第2回意見交換会

日時：9月25日(土)頃
時間未定
場所：未定

日時、場所は決定次第、HP等でお知らせいたします。(詳しくは事務局までお問い合わせください。)

チャレンジ25キャンペーン ～ 6つのチャレンジ ～

☆地球温暖化はあなたの選択で防止できます

- 1 エコな生活スタイルを選択しよう
クールビズ, MY バッグなど
- 2 省エネ製品を選択しよう
LED電球, エコカーなど
- 3 自然を利用したエネルギーを選択しよう
太陽光発電, 風力発電など
- 4 ビル・住宅のエコ化を選択しよう
高断熱構造, 複層ガラスなど
- 5 CO₂削減につながる取組を応援しよう
地産地消, カーボンオフセットなど
- 6 地域で取組む温暖化防止活動に参加しよう
地域の環境イベントなどに参加

出典：環境省

投稿をお待ちしています

広報委員会では、会報を年3回(7、11、2月)発行する予定です。
会報に、会員や市民の皆さんが普段感じたことや、実践しているエコや身近な自然などに関する記事を掲載したいと思っています。
投稿記事は、300字程度にまとめ、実名、連絡先を明記願いますが、記事署名はペンネーム、匿名を可とします。
※投稿は、郵便、電子メール、FAXで事務局まで



会員を募集しています

本会では、会員を募集しています。市内に在住、通勤、通学している方なら誰でも入会できます。(個人又は家族)
また、市内で活動している団体、事業所も会員になれます。
・年会費(1口以上)
個人・家族会員 1口 500円
団体会員 1口 1,000円
事業所会員 1口 2,000円
※詳細は事務局まで
※現在の会員総数 5,484名

緑の窓辺
青い空の入道雲と向日葵の大輪は、アスファルトからの熱気と額の汗を忘れさせる。
あちこちに豪雨をもたらして駆け抜けた梅雨は、やはり異常気象の現われなのだったのだろうか？
小生は生ゴミを堆肥にし、エコドライブを実行している。
節電の目玉(?)として去年から始めた南の窓を被うゴーヤと朝顔の緑のカーテン。
チップケ過ぎて自己満足の域なのであるが、去年は前年比較の電気料金削減に満足した。
国内も近隣の国にも豪雨をもたらした今年の梅雨は異常気象だったのだろうか、地球を大切にして夏を満喫しよう。
(文責 若林)

編集者だより